

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-5

5-Ⅱ-5

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	地場産業の活性化
節	Ⅱ.伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	5 佐渡特産品の高付加価値化	事業主体	佐渡市農業政策課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡連合商工会
事業概要	【事業目的】	○ 世界遺産ブランドを活用した地元特産品の高付加価値化を推進し、地場産業の活性化を図る。	
	【事業内容】	○ 地場産品に世界遺産ブランドのイメージを付加することで商品価値を高めるとともに、佐渡金銀山のPRと連動した販売促進等により地場産業の振興を図る。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 前年度に引き続き、世界農業遺産ブランドマークを活用する際に世界農業遺産が認定された要因(ストーリー)には、佐渡金銀山の関係性が深いことを触れながら認知度の向上を図る。また、ブランドマークの活用者にも相互の関係性を理解してもらうよう周知する。	
	【R2年度実績】	● 世界農業遺産をPRする際に佐渡金銀山とのつながり、関係性が深いことを触れながら認知度の向上を図った。また、ブランドマークの活用者にも関係性を理解してもらった。 世界遺産ブランドマーク申請件数 延べ73件	
課題・今後の取組	【課題】	■ ブランドマークの周知を引き続き行い、認定10周年を迎える世界農業遺産と世界文化遺産の国内推薦選定を契機として、商品のパッケージなどに積極的に活用してもらい地場産業の振興につなげる。	
	【今後の取組】	■ 認定から10周年を迎える世界農業遺産の認知度向上を図り、申請件数を増やす。 佐渡金銀山の国内推薦選定を利用し、関係機関のHPやSNSと連動して発信する他、新たなコンテンツの活用も積極的に行う。	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 概ね計画通りに進んでおり、今後も地元特産品の高付加価値化を推進し、地場産業の活性化を図る。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。